



アジアエレクトロニクス株式会社 サイトレポート情報	
所在地	東京都青梅市新町9丁目2157番地
敷地面積	6,614m ² 、建家面積：4,763m ² 、緑化率 13.0%
設立	1952年2月、従業員：94人（2011年4月現在）
主要製品	画像検査装置、その他電子機器応用製品、受託設計・製造
ISO14001認証取得	1999年8月、最新更新年月：2011年8月 (ISO認証番号：EC99J1054)



ごあいさつ

当社は各種の電子機器商品を世の中に提供してきました。その間に培ってきました画像処理装置技術、電子機器応用製品開発技術が、当社の現在の基盤となっています。

これらの基盤技術と、“かけがえのない地球を健全な状態で次世代に引き継いで行くことは我々の基本的な責務である。”との認識をもとに、環境調和型製品の開発・製造を行い、社会に貢献することを目指します。



環境経営責任者 藤谷 宏

2010年度の環境の主な取組み

- ★化学物質排出量の削減
化学物質の排出量を、2004年度と比較して89パーセント削減しました。
- ★CO2排出量の削減
CO2(エネルギー)の排出量を2004年度と比べて、3%削減しました。
- ★廃棄物ゼロミッションの継続
最終処分率0.5%未満を継続目標をしていたが、予想外に最終処分ごみ量が多く、0.65%で未達成でした。
- ★環境調和型製品開発
LCA(ライフサイクルアセスメント)の実施により、新製品の消費電力低減を行っています。
- ★全員参加・啓発活動の展開
環境月間・3R推進月間・省エネ月間による環境啓発活動を実施しました。構内清掃を毎月全員参加で実施しています。

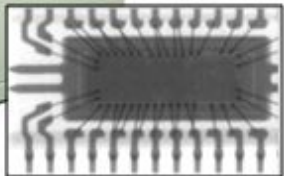
製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介



スタンドアロンタイプ
画像検査装置
PRS-800s



X線画像検査装置



環境配慮した製品を創出しています。

環境コミュニケーションの紹介

近隣中学校生徒に電力監視装置及び廃棄物など、環境施設を見学していただきました。

電力監視装置説明



廃棄物分別体験



環境経営基本方針

アジアエレクトロニクス（株）は、多摩地区の自然と緑豊かな青梅丘陵に位置し、環境に配慮した事業活動の推進と製品開発・製造を行い社会に貢献することを目指します。環境経営への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け

“かけがえのない地球を健全な状態で次世代に引き継いで行くことは
我々の基本的な責務である。”

との認識のもとに環境経営活動を技術的、経済的に可能な範囲で推進します。

1. 当社の環境側面について環境影響評価を実施すると共に、環境目的・目標、及び環境経営推進計画を定めて環境経営活動を推進し、環境経営システムの継続的改善と汚染予防に全員参加で取り組みます。
2. 環境経営に関する法規制、及び当社が同意したその他の要求事項の順守は、企業の基本的な責務と認識すると共に、自主管理基準を設けて環境経営レベルの維持、向上を図ります。
3. 電子機器の開発・設計・製造・販売の活動、製品、サービスに係わる環境負荷を低減するため、次の環境経営活動を推進します。
 - (1) 環境調和型製品を開発し、環境負荷を低減します。
 - (2) 化学物質使用量の削減と代替化を推進します。
 - (3) 省エネルギー活動を推進し、電力使用量の削減を図ります。
 - (4) グリーン購入を推進し、環境負荷を低減します。
 - (5) 廃棄物の再資源化及び廃棄物の削減を推進します。
4. この環境経営基本方針は、組織のために働くすべての人に周知すると共に、一般の人にも開示します。

2010年7月29日

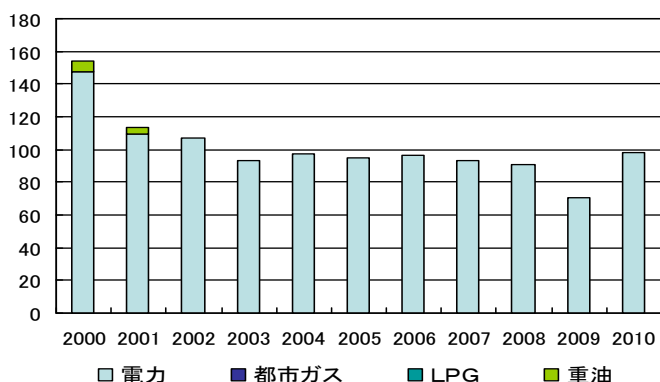
アジアエレクトロニクス株式会社

取締役社長

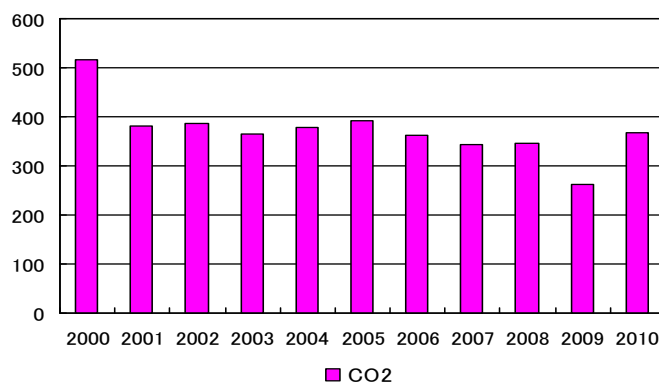
豊田俊夫

環境負荷データ

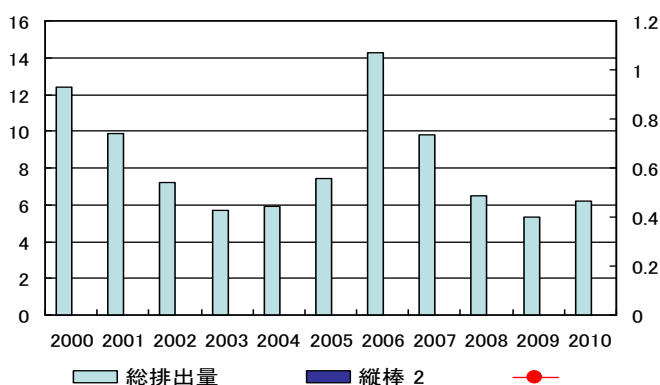
エネルギー使用量(単位:KL)



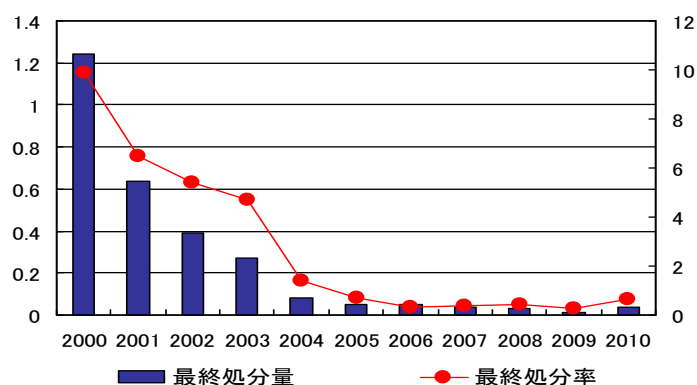
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

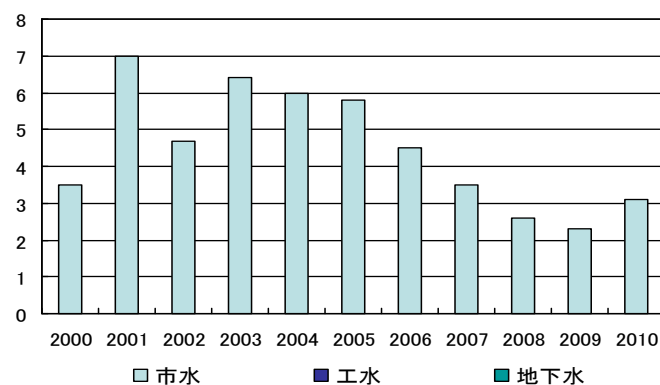


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

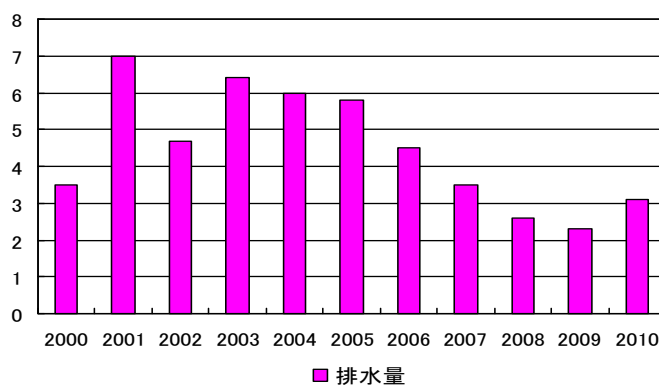


主な廃物名: 金属、プラスチック等

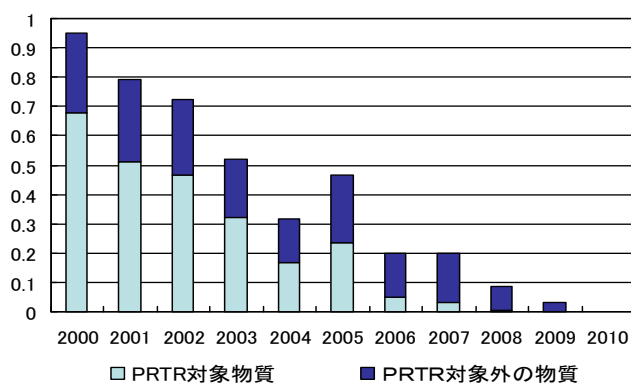
水の使用量(単位:千m³)



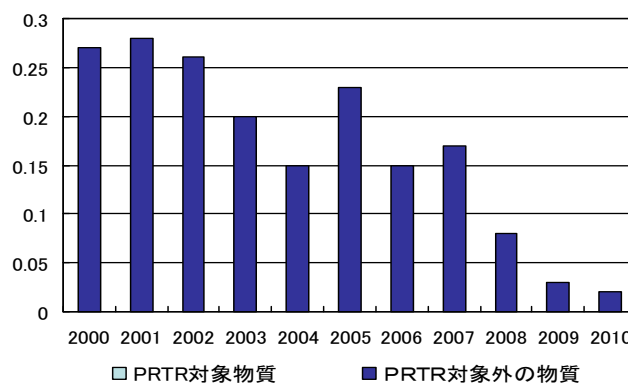
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質: 鉛(はんだ)、イソプロピルアルコール

遵法管理状況

<大気測定結果> (該当施設なし)

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	対象外	対象外	対象外	対象外
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	対象外	対象外	対象外	対象外

<排水測定結果> (該当施設なし、公共下水道へ放流)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	対象外	対象外	対象外	対象外
BOD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
COD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
SS(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
窒素(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
フッ素(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外

<騒音・振動測定結果> 特定施設 騒音:XXX施設(機械プレス)、振動:XXX施設(機械プレス)

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	対象外	対象外	対象外	対象外
	敷地境界:夜	対象外	対象外	対象外	対象外
振動(dB)	敷地境界:昼	対象外	対象外	対象外	対象外
	敷地境界:夜	対象外	対象外	対象外	対象外

<その他測定結果> (下水道法:主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	対象外	6.5~8.5	7.0	1回/年
BOD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
SS(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし